

株式会社 dinos

サステナビリティ レポート 2025

SUSTAINABILITY REPORT 2025



CONTENTS

サステナビリティ トップコミットメント	3
ブランドメッセージ	4
サステナビリティビジョン2030	5
サステナビリティビジョン2030 2025年度取り組み状況	8
• 全社的な取り組み	8
• 2030年コミットメントの進捗状況	9
• 重点領域「健やかさ」を広げる取り組み	10
• 重点領域「多様性」を応援する取り組み	11
• 重点領域「自然環境」を持続可能にする取り組み	12

※本レポート(対象期間：2025年4月～2026年3月)は、株式会社dinosのサステナビリティに関わる活動をステークホルダーの皆さまに共有することでご意見等を取り入れ、さらに当社の活動を発展させていくことを目的として発行しています。

サステナビリティ トップコミットメント



ブランドメッセージ「わたしの『好き』、みつけた。」のもと、持続可能な未来の実現へ向けた挑戦を加速化させます。

当社は1971年の創業以来、ファッション、家具・インテリア、美容健康、食品などさまざまな商品・サービスを提供する総合通信販売企業です。2026年12月には創業55周年という大きな節目を迎えます。長年にわたりお客さまの暮らしに寄り添い続けてきたからこそ、お客さまが毎日の暮らしの中で「わたしの『好き』、みつけた。」と感じていただいた先に、よりよい地球の未来があるような商品・サービスの提供が使命だと考えています。

その使命を果たすべく、私たちはサステナビリティに向けた3つの重点領域「健やかさ」「多様性」「自然環境」を設けています。2025年度はカタログ回収キャンペーンや返品サービス「トルダス」、さらには「奨学生家具」の取り組みなど、全社的な活動を継続して推進しました。

「健やかさ」では、お客さまごとに異なるさまざまなウェルビーイングを高めるため、「ミズノ スクワットスリール デルタ」や「魚沼産こしひかり」をはじめとする、心身の健やかさを広げる多様な商品・サービスを提供しています。同時に、従業員一人ひとりのウェルビーイングが重要だと考え、健康増進施策を推進し、7年連続で「健康経営優良法人」の認定を取得しました。お客さまの健康に貢献するためにも、私たち一人ひとりが心身ともに健康であることを目指しています。

「多様性」では、お客さま一人ひとりのライフスタイルをお手伝いするため、日々の暮らしに潜む困りごとを解消する「お掃除ロボットおかえりラック」などを展開しています。また、世界の子どもたちや作り手を支援する社会貢献活動に継続参加するとともに、社内でも育児・介護両立支援制度「ケアフレックス勤務」を開始し、多様な視点を活かせる環境づくりを進めています。

「自然環境」では、お客さまの暮らしを環境にやさしく心地よいものにするため、ファッションブランド「So Close,」ではサステナブル素材を使ったアイテムの特集企画を初めて掲載したほか、リサイクル羽毛掛け布団「reumo（リウモ）」や、1000回落としても割れない食器「ARAS（エイラス）」、間伐材を活用した「国産ひのきパレットベッド」など、地球環境に配慮した長く使える商品の企画・提案を拡大しています。

今後も重点領域に基づいた事業活動を通じて社会課題を解決し、お客さまの「好き」があふれる暮らしを創出しながら、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2026年8月

株式会社 dinos

代表取締役社長 **加藤 浩輔**

ブランドメッセージ

わたしの「好き」、みつけた。

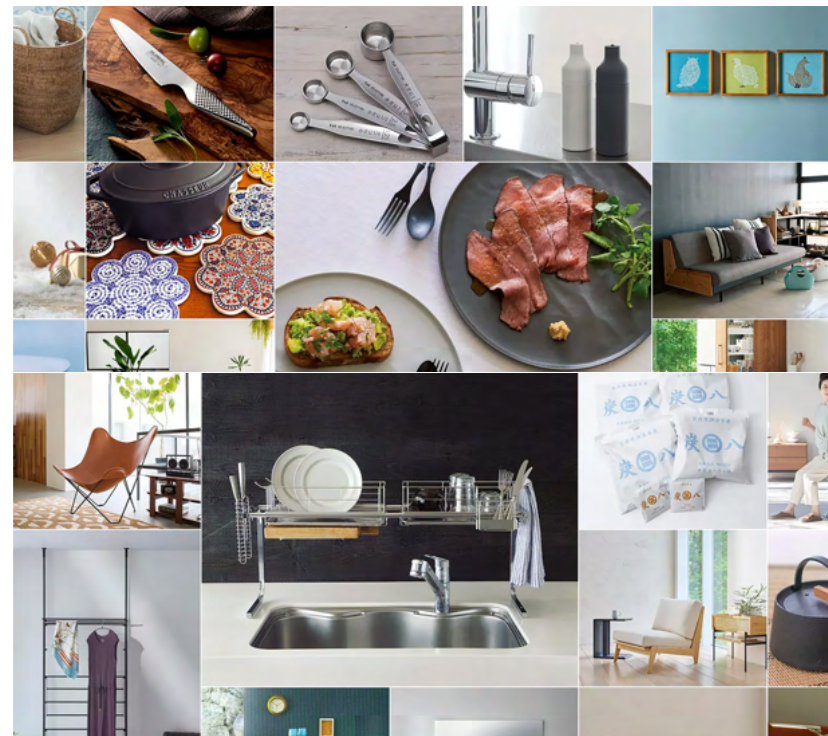
「好き」と思えるものだけを選びたい。

心ときめくものにかこまれて、くらしたい。

もっと自分らしく、もっと愛おしい毎日のために。

“わたしの「好き」、みつけた。”

その喜びを、今日もあなたへ。



私たちはお客さまが新たな「好き」に出会えるよう、厳選した商品の品揃えだけでなく、心ときめく体験をお届けしていきます。その「好き」を生み出す要素として、環境・社会に配慮した商品企画や取り組みが欠かせません。誰かに語りたくなるサステナブルなストーリーをもった商品や愛着を持って長く使いたくなる商品を提供することで、環境課題や社会課題の解決に貢献していきます。

サステナビリティビジョン2030

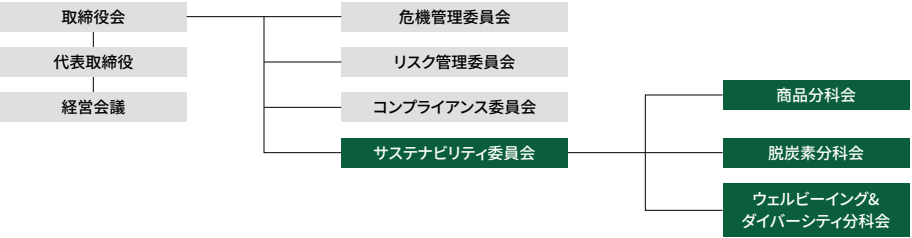
サステナブルなモノがたりで、
未来の暮らし、
もっとたのしく。

株式会社dinosは、お客さまとともに「好き」に満ちた楽しい暮らしを
創造・共有していくため、さまざまな社会・環境課題に取り組み、
持続可能な未来の実現に貢献しながら、企業としての成長を目指します。



サステナビリティビジョンの取り組み方[2025年10月改訂]

- ー 当社が考える“これからの社会・創りたい未来”の姿について、SDGsと同様に2030年に向けて「サステナビリティビジョン2030」として2021年4月に掲げ、全社でその実現を目指しています。
- ー 当該ビジョンでは、「健やかさ」「多様性」「自然環境」を重点領域と位置付け、それぞれ設定した具体的な目標計画(定量・定性)のもと取り組みを推進してきました。そのうち、「自然環境」の温室効果ガス削減目標については、2024年度分から「2013年対比でスコープ1・2が2030年に50%削減、2050年までにカーボンニュートラル実現」へ変更することとしました。当社は株式会社フジ・メディア・ホールディングスのグループ会社として同社の「TCFD提言に基づく情報開示」の対象となっていることも踏まえて、同社の削減目標と歩調を合わせ、引き続き取り組みを進めてまいります。また、「自然環境」の2030年コミットメント「お客さまからのご注文1回あたりの紙媒体における紙使用効率を、2030年には50%向上させます(2019年対比)」は、2024年度に達成しました。2025年度からは水準を維持しながら、環境に配慮した商品梱包素材の採用を検討するなど、多面的な取り組みを進めてまいります。
- ー 健康経営及びダイバーシティ&インクルージョンなど、従業員に関わるコミットメントに対しては、健康要因に関する多角的かつ複数の指標や、D&Iに対する従業員理解度、業務上の意思決定を行うキーポジションの女性社員比率等を指標としています。
- ー 当該ビジョン実現に向けた推進体制として、社内にはサステナビリティ委員会を設置しています。同委員会は代表取締役をはじめ役員を含むメンバーで構成され、マテリアリティに基づく重点領域を中心として、サステナビリティに関する全体計画の立案、進捗状況の把握、達成状況の評価等を行っています。また、同委員会には3つの分科会(商品・脱炭素・ウェルビーイング&ダイバーシティ)も設置し、それぞれの分野においてさまざまな取り組みを推進しています。

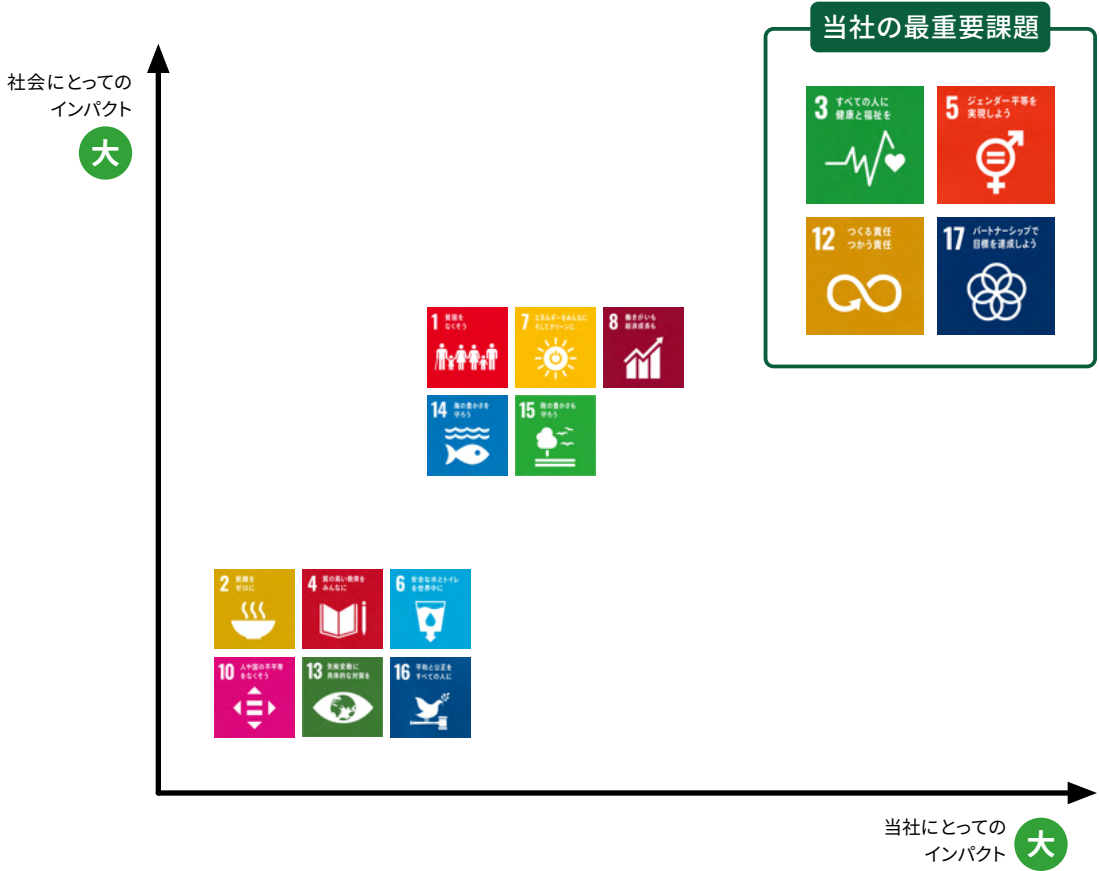


- ー 取り組みを進めるにあたり、公的ガイドラインや社会的視点を促す第三者との連携や、そこからの評価を得ることを検討していきます。

当社のマテリアリティ(最重要課題)

社内ヒアリングに基づいて洗い出した、SDGs(Sustainable Development Goals)の17ゴール・169ターゲットに関わるような当社事業活動について、社会にとってのインパクトと当社にとってのインパクトで評価し、それら影響の大きさについて2軸で表した、マテリアリティマップ上に15のSDGsゴールを分類しました。

そのうち、「3(すべての人に健康と福祉を)」「5(ジェンダー平等を実現しよう)」「12(つくる責任つかう責任)」「17(パートナーシップで目標を達成しよう)」の4つを当社にとっての最重要課題としています。



サステナビリティ上の3つの重点領域

マテリアリティのうち4つの最重要課題をもとに、「健やかさ」「多様性」「自然環境」を、当社がサステナビリティ上で取り組むべき重点領域と設定しました。
この3領域を中心に、社会や環境をより良い方向へとつなぐ当社の商品・サービスや事業活動を通して、お客さまとともに“よりたのしい暮らし”を生み出していきます。

「健やかさ」を広げる

日々の暮らしにおける身体と心の健やかさが、自然と広がっていくきっかけを作り続けます。

「多様性」を応援する

多様な価値観や立場などを踏まえ、女性をはじめさまざまな方々のより良い暮らしを後押しします。

「自然環境」を持続可能にする

たのしく豊かなくらしのために、すべての事業活動において、自然環境保全につながる取り組みを推進します。

取り組みテーマ

健やかなくらしを良質に

健やかな日常に丁寧に寄り添いながら、心地よさ、彩り、楽しさといった、毎日を豊かにする+αも織り込んでいきます。

アクションのキーワード

- インナービューティー
- オーガニック
- エルゴノミクス
- つながり／コミュニケーション

より人生を長く健康に

人生100年時代に、老若男女が健康で充実した日々を長く送れるようにするためのサポートをします。

アクションのキーワード

- 運動
- 免疫力
- 眠り
- 美容
- リカバリー／コンディショニング

取り組みテーマ

自分らしさをすべての人に

すべての人が、自分らしく誇りをもって暮らせる世の中に向けて、一人ひとりのライフスタイルを整えるお手伝いをしていきます。

アクションのキーワード

- 女性の応援
- 時間と余暇(時短、時産)
- 解放(既成の役割からの)
- ジェンダーフリー／ジェンダーレス

年齢を重ねる喜びを演出

それぞれの人が、自分らしく年齢を重ねていく足取りに、さまざまな喜びや楽しさを加える提案をしています。

アクションのキーワード

- パーソナルエイジング
- エイジレス／エイジフリー
- セルフケア
- 介護支援

取り組みテーマ

より自然環境にやさしいくらしへ

日々のくらしを、商品やサービスを通じて、自然環境にやさしく、持続可能にしていこう手伝いをします。

アクションのキーワード

- 資源効率／サーキュラーエコノミー
- 水効率
- 汚染防止
- 生物多様性
- CO2排出削減と再生可能エネルギー

責任ある紙の使用

通販事業者として責任ある紙の使用により、環境への影響の低減を追求します。

アクションのキーワード

- 紙使用効率
- 環境に配慮した用紙・印刷方法

こころを穏やかに

毎日を、あるいは特別な日を、よりゆったりと、より穏やかな気持ちで過ごせるようにする、さまざまなアイテムやサービスをお届けします。

アクションのキーワード

- 安心
- リラックス
- 緑・自然
- 香り
- いたわり

お客さまのために、私たちも健康に

お客さまの健康に貢献するためにも、私たち一人ひとりが心身ともに健康であることを目指します。

アクションのキーワード

- 健康要因
- 健やかな職場
- ワーク・エンゲージメント

弱い立場にある方に寄り添う

人を取り巻く課題に向き合い、さまざまな活動に継続的に取り組みます。

アクションのキーワード

- 災害
- 貧困

組織をより多様に

多様性を尊重し、誰もがその能力や個性をより持続的に発揮できる組織を目指します。

アクションのキーワード

- 人事・採用
- 働き方
- 組織文化
- ダイバーシティ&インクルージョン

気候変動の緩和に向けて

世界共通の課題である、気候変動緩和のため“脱炭素”に向け、自社及びサプライチェーンにおける取り組みを進めます。

アクションのキーワード

- エネルギー効率
- 再生可能エネルギー利用
- カーボンニュートラル

サステナビリティビジョン2030 2025年度取り組み状況

全社的な取り組み

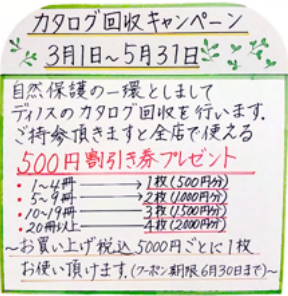
当社は、お客さまとともに“よりのたのしいくらし”を創造・共有していくため、「サステナビリティビジョン2030」の実現を目指し、さまざまな取り組みを推進しました。

・資源循環を目指し、不要なカタログの店舗回収を本格実施

限りある資源の効率的活用と持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、お客さまに配布したカタログのうち、不要になったカタログの店舗回収を実施しています。回収したカタログは、カタログ用紙調達先である日本製紙株式会社と連携した「クローズド・ループ」による古紙リサイクルスキームを通じて再生資源化。当社はそれらを原料としたカタログ用紙を採用しています。2024年の回収テストで一定の実績を確認できたことから、2025年度からは本格的にスタート。2025年9月1日～11月30日と2026年3月1日～5月31日、都内のショールーミングストアや関東・関西地方のアウトレット店舗で受付けを行い、計1,367冊を回収しました。カタログをお持ち込みいただいたお客さまには、商品ご購入時に利用できるクーポンなどをプレゼントしています。



「クローズド・ループ」によるカタログ古紙リサイクルスキーム



アウトレット店舗で実施した回収キャンペーンの店頭POP

・新入社員サステナビリティ研修「SUSラボ」を実施

2022年度より、新入社員がサステナブルな視点・素養を身につけることを目的に、サステナビリティ研修プログラム「SUSラボ」を実施しています。2025年度は「dinos社員がサステナビリティに対する当事者意識を高めるためのコミュニケーションプランとは？」をテーマに、全7回の研修で知見を深め、2チームに分かれて具体的なアクションを企画。最終回は役員・社員を前に、企画プレゼンテーションを実施しました。



企画プレゼンテーションの様子

・カーボンニュートラルの実現へ向け、グループ間連携を強化

当社は「CO2排出量（スコープ1・2）を2030年までに50％削減（基準年2013年）」と「2050年までにカーボンニュートラルの実現」を目指しています。スコープ1・2^{※1}・^{※2}はオフィスフロアの空調設備の整備により、2025年度47.4％減（基準年比）となりました。また、スコープ3^{※3}は2025年度93,933CO2・トン。サプライチェーンを通じたCO2排出量削減の重要性を認識し、2025年度より親会社である株式会社フジ・メディア・ホールディングスと連携しながらスコープ3の算出・実績把握に取り組んでいます。

※1 燃料消費に伴う排出量（直接排出）

※2 購入した電力・熱の使用に伴う排出量（間接排出）

※3 その他の間接的な排出量

2025年度 CO2排出量（スコープ3）／単位CO2・トン

カテゴリ1	購入した製品・サービス	72,836.14
カテゴリ2	資本財	3,163.47
カテゴリ3	スコープ1,2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	188.91
カテゴリ4	上流の輸送、配送	1,343.94
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	128.48
カテゴリ6	出張	86.74
カテゴリ7	雇用者の通勤	149.25
カテゴリ11	販売した製品の使用	13,822.48
カテゴリ12	販売した製品の使用者による廃棄	2,213.62
合計		93,933.04

※ 次のカテゴリは算出外。カテゴリ8（上流のリース資産）、9（下流の輸送、配送）、10（販売した製品の加工）、13（下流のリース資産）、14（フランチャイズ）、15（投資）

・返品商品の発送サービス「トルダス」を導入

2025年6月より、マルイなどの商業店舗でご利用いただける返品商品の発送サービス「トルダス」（運営：株式会社ムービング）を導入しました。お客さまによる商品の梱包は不要で、返品フォームから申請後、店舗へ持ち込んでいただくと返品の手続きが完了。また、店舗でお預かりした返品商品は使い捨て梱包資材を使用せず、「専用通い袋」や「コンテナ」によって当社へ持ち込まれます。梱包資材の効率的な利用を通じて、物流に伴うCO₂排出や廃棄物の削減に貢献しています。

・奨学生18名に、デスク&チェアや折り畳みベッドを無償提供

2024年より、奨学金を受給する学生の経済的課題の解決に貢献するため、京王不動産株式会社と京王電鉄株式会社とともに取り組む「奨学生応援プロジェクト」。2025年度は京王線・井の頭線沿線に在住もしくは沿線の学校に通い、公的奨学金を受給するすべての大学、大学院、短期大学、専門学校、高等専門学校の学生が対象となりました。当社は新品家具レンタルサービス「flect（フレクト）」の返却家具の中から、状態の良いものを無償提供。2025年度は18名の学生に家具をお届けしました。

2030年コミットメントの進捗状況

「サステナビリティビジョン2030」では、3つの重点領域にそれぞれ3つもしくは4つの取り組みテーマを設定しており、それらに対して2030年目標(定量・定性)を掲げております。これらのコミットメント進捗状況については、毎年度、当サステナビリティレポートにおいてご報告させていただきます。

重点領域：「健やかさ」を広げる			
日々の暮らしにおける身体と心の健やかさが、自然と広がっていくきっかけを作り続けます。			
取り組みテーマ		2030年コミットメント	2025年度実績
健やかなくらしを良質に	健やかな日常に丁寧に寄り添いながら、心地よさ、彩り、楽しさといった、毎日を豊かにする+αも織り込んでいきます。	お客さまのウェルビーイングを高めるために、健やかさを広げる商品・サービス・情報を提供します。	「健やかさ」を広げる商品等に関するレポートはP11
より人生を長く健康に	人生100年時代に、老若男女が健康で充実した日々を長く送れるようにするためのサポートをします。		
こころを穏やかに	毎日を、あるいは特別な日を、よりゆったりと、より穏やかな気持ちで過ごせるようにする、さまざまなアイテムやサービスをお届けします。		
お客さまのために、私たちも健康に	お客さまの健康に貢献するためにも、私たち一人ひとりが心身ともに健康であることを目指します。	健康要因をさまざまな指標に基づいて多角的に捉え、従業員が心身ともに健やかで、それぞれの能力が十分に発揮できる状態を実現します。	定期健康診断受診率 … 99.5% (2030年目標:100%) ストレスチェック受検率 … 86.1% (2030年目標:100%) 運動習慣比率 … 30.4% (2030年目標:50%、1週間に30分以上の運動を2回) 喫煙習慣比率 … 15.8% (2030年目標:10%)

重点領域：「多様性」を応援する			
多様な価値観や立場などを踏まえ、女性をはじめさまざまな方々のより良いくらしを後押しします。			
取り組みテーマ		2030年コミットメント	2025年度実績
自分らしさをすべての人に	すべての人が、自分らしく誇りをもって暮らせる世の中に向けて、一人ひとりのライフスタイルを整えるお手伝いをしていきます。	お客さまの自分らしくいきいきとしたくらしを実現するために、多様性を応援する商品・サービス・情報を提供します。	「多様性」を応援する商品等に関するレポートはP12
年齢を重ねる喜びを演出	それぞれの人が、自分らしく年齢を重ねていく足取りに、さまざまな喜びや楽しさを加える提案をしていきます。		
弱い立場にある方に寄り添う	人を取り巻く課題に向き合い、さまざまな活動に継続的に取り組みます。	継続的にさまざまな社会貢献活動を推進します。	継続的なコースマーケティングを実施(P12)
組織をより多様に	多様性を尊重し、誰もがその能力や個性をより持続的に発揮できる組織を目指します。	全従業員がダイバーシティ&インクルージョンを理解し、お互いを尊重し合い、一人ひとりが活躍できる職場を実現します。	eラーニングの受講率 … 92.2% (2030年目標:100%)
		業務上の意思決定を行うキーポジションの女性社員比率を、2030年までに50%以上にします。	34.8%

重点領域：「自然環境」を持続可能にする			
たのしく豊かなくらしのために、すべての事業活動において、自然環境保全につながる取り組みを推進します。			
取り組みテーマ		2030年コミットメント	2025年度実績
より自然環境にやさしくくらしへ	日々のくらしを、商品やサービスを通じて、自然環境にやさしく、持続可能にしていこうお手伝いをします。	お客さまのくらしをより環境にやさしく心地よいものにするために、自然環境を持続可能にする商品・サービス・情報を提供します。	「自然環境」を応援する商品等に関するレポートはP13～19
			「サーキュラーエコノミー」の実現につながるような、既存事業の見直しや新たな事業を検討します。
責任ある紙の使用	通販事業者として責任ある紙の使用により、環境への影響の低減を追求します。	お客さまからのご注文1回あたりの紙媒体における紙使用効率を、2030年には50%向上させます(2019年対比)。	2年連続 目標達成 66.8%
			複数のカタログで、環境負荷低減となるベジタブルオイルインキを採用
気候変動の緩和に向けて	世界共通の課題である、気候変動緩和のため“脱炭素”に向け、自社及びサプライチェーンにおける取り組みを進めます。	温室効果ガス削減のため、CO2排出量(スコープ1・2)を2030年までに50%削減します(2013年対比)。また、2050年までにカーボンニュートラルを実現します。*	スコープ1・2 47.4%削減 スコープ3 93,933.04 CO2・トン

※「気候変動の緩和に向けて」の2030年コミットメントは、2024年度分より上記に変更。なお、スコープ3は目標化せず、該当カテゴリーの実績を開示。

「健やかさ」を 広げる

身体と心の健やかさを
見つめ直し、
さまざまな商品を発売しました。



座面はブラウンとレッドの2色。
座面下のレバーを操作して
固定できるため、
上下運動の用途に
限らず通常の椅子としても
使用いただけます

取り組みテーマ より人生を長く健康に／こころを穏やかに

肌にやさしい寝具「パシーマ® EX」の 商品価値を見直し、再発進

脱脂綿とガーゼでできた、肌にやさしい寝具「パシーマ® EX」は、当社が20年以上販売する寝具シリーズです。「パシーマ®」を製造する製造元の龍宮株式会社と協力し、厚みや掛け心地、肌ざわりの細部にまでこだわり、寝具としての満足感を追求。メーカー通常品に比べ、キルトケットは中綿を約50%、ピローケースは約30%増量。包み込まれるような掛け心地と温もりをアップさせています。

2025年度は商品価値を丁寧に見直し、テレビCMやSNS、WEB広告などあらゆるチャネルを連動して、幅広いお客さまに「パシーマ® EX」の魅力を発信しました。また、初めての方でも試しやすい「パシーマ® EX 無地タイプ ピローパッド」を企画・販売し、多くのお客さまに肌ざわりの良さを体感いただきました。



「パシーマ® EX 無地タイプ ピローパッド」はゴムタイプなのでさまざまな枕に取り付け可能

取り組みテーマ より人生を長く健康に

正しい姿勢で、効果的に運動ができる 椅子型トレーニング器具を発売

当社は2026年2月、座りながらトレーニングができるスクワットチェアの最新モデル「ミズノ スクワットスリール デルタ」を企画し、dinos限定で発売しました。

本品は着座して「座る&立つ」の動作をすることで、太ももの筋肉を鍛えることができる椅子型のトレーニング器具です。座面を空気圧で押し上げてサポートしてくれるため、膝にかかる負荷を軽減しながらスクワットのような運動を効果的に行うことができます。「ミズノ スクワットスリール」シリーズは2018年の第一弾商品の発売以来、累計33億円以上を売り上げている大ヒットシリーズです。今回、従前品から座面の形状を改良したことで、正しい姿勢でより安定してスクワットのような運動ができるようになりました。

今後も身体づくりの悩みに寄り添い、くらしに馴染む商品の提案を続けてまいります。

取り組みテーマ 健やかなくらしを良質に

産地・JA魚沼とともに、 有機栽培米をお届けしています

当社の食品部門がお客さまに対して掲げている「7つの約束」。そのひとつが「有機JAS認定食品や特別栽培農産物を積極的にご紹介」することです。

当社はJA魚沼の「魚沼産こしひかり」を取り扱っており、JA魚沼との取り引きは2025年に通算30年目*を迎えました。取り扱い商品のひとつである「魚沼こしひかり 有機JAS米」は種もみから収穫まで、化学合成農薬と化学肥料を使用せず有機栽培で育てたお米です。農業に頼らないため栽培がむずかしく、JA魚沼のなかでも取り組む生産者少ないお米ですが、今後も当社は産地と密に連携しながら有機JAS認定食品を積極的にご紹介していきます。

※JA魚沼の前身・JA北魚沼との取引から通算



JA魚沼(新潟県)の田植えの様子

取り組みテーマ お客さまのために、私たちも健康に

お客さまにより良い価値をお届けするために、 従業員の心と体の健康づくりを推進

当社がブランドメッセージ「わたしの『好き』、みつけた。」を体現し、常にお客さまをワクワクさせる存在であるためには、まずは従業員一人ひとりが心身ともに健やかで、ウェルビーイングであることが必要だと考え、健康経営の取組みを推進しています。

2025年度は栄養バランスの整ったお弁当を食べながらおいしく学べるランチセミナーや睡眠に課題を抱える従業員を対象とした「睡眠時無呼吸検査」、ウォーキングアプリの歩数上位者を表彰する運動イベントの実施のほか、株式会社フジ・メディア・ホールディングスのグループ各社と連携したピンクリボン活動など幅広い取組みを行いました。また、2025年度も健康経営に関する取組みが評価され、健康経営を実践する企業を顕彰する制度「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」に7年連続で認定されました。



ウォーキングアプリの
歩数上位者を表彰する
運動イベント

経済産業省及び
日本健康会議が実施する
「健康経営優良法人2026」に認定

「多様性」を 応援する

多様な価値観を踏まえ、
さまざまな立場の方の暮らしを
応援します。



棚は高さが
変えられるため、
ゴミ箱や観葉植物を
置くのもおすすめ



45×45cmのスペースに置ける
コンパクト設計で、
圧迫感の少ないシンプルなデザイン

取り組みテーマ 自分らしさをすべての人に

デッドスペースを有効活用した 「お掃除ロボット おかえりラック」を発売

当社は2025年10月に、長岡造形大学、株式会社IKASAS DESIGNとの産学連携プロジェクトの商品化第2弾として、「お掃除ロボット おかえりラック」を発売しました。

場所を取りがちなロボット掃除機やゴミ箱の置き場所をつくり、その上のデッドスペースを衣類や小物などの収納スペースにしたスペバカグ[※]です。商品案は、社会で即戦力として活躍できるプロダクトデザイナー人材の育成のために、学生が商業ベースでものづくりをする産学連携プロジェクトより誕生。本商品は2024年度、長岡造形大学造形学部デザイン学科の寺西紗衣さん(当時2年生)が提案した作品です。

今後暮らしの不便さを解消する商品づくりはもちろん、取引先や関係機関と連携し、家具業界の未来をつくる人材の育成にも取り組んでいきます。

※デッドスペースを収納に変える、ディノスの技あり収納家具シリーズ

取り組みテーマ 年齢を重ねる喜びを演出

年齢や生活環境、ストレスに左右されない 未来につながる肌ケアを提案

「immunity(免疫)」を語源に持つオリジナルコスメブランド「imini(イミニ)」では、生活環境やストレスに左右されず、何歳になっても、いきいきと輝くために大切なのは「肌力(はだりよ^{※1})」であるという考えのもと、滋賀県産無農薬栽培の玄米を使用した日本初^{※2}のバントエア菌LPS^{※3}成分を配合したスキンケアやコスメを提案しています。多彩な商品を展開するイミニでは、毎日お使いいただくものだからこそ「肌に不要なものは配合しない」ことを大切に、製品の配合成分にこだわった商品開発を行っています。

ブランド10周年を迎え、シリーズ累計出荷本数250万本^{※4}を突破。自然とともに心地よさ、シンプルさを大切に、性別や年齢に関係なく、敏感肌から年齢肌まで幅広い肌質の方にお使いいただいています。

- ※1 水分と油分のバランスが整っていること
- ※2 国産無農薬米を使用したバントエア菌LPSとして日本初
- ※3 バントエア/コメヌカ発酵エキス液(保湿成分)
- ※4 2015年7月～2025年10月イミニシリーズ累計出荷実績(自社調べ)



10
years
ANNIVERSARY

取り組みテーマ 組織をより多様に

一人ひとりがイキイキと 活躍できる職場環境を目指しています

当社は共に働く仲間の多様性と個性を尊重しながら、一人ひとりの能力が発揮できる環境づくりを目指しています。

より高い水準の子育て支援や仕事と育児の両立支援の取り組みに対して認定される「プラチナくるみん」や、女性の活躍推進に関する優良な取り組みに対して認定される「えるぼし(3つ星)」を継続して取得しています。また、2025年度の育児休業取得率は前年度に引き続き、男女ともに実質100%となりました。

2025年度は新たに、育児や介護があってもパフォーマンスを発揮できる柔軟な働き方を支援する「ケアフレックス制度」を整備。また、管理職・上位等級社員を対象に「パワーハラスメント撲滅研修」を実施しました。多様なメンバーとどのように関わり、成長を支えていくかを学ぶことで、心理的安全性の高い職場づくりを推進しています。



子育てサポート企業として
厚生労働大臣の認定を受けた証
「プラチナくるみん」マーク

厚生労働大臣より与えられる
「えるぼし」の最高位・3つ星

取り組みテーマ 弱い立場にある方に寄り添う

累計119万人の世界の子どもたちに、 給食支援を実施

50代からの大人女性に向けたファッションブランド『DAMA collection (ダーマ・コレクション)』では、2010年から国連WFPの「学校給食支援プログラム」に参加しています。売り上げの一部を寄付し、これまでに119万人以上の発展途上国の子どもたちに給食支援を行いました(2025年10月時点)。

同プログラムは、子どもたちに栄養のある食事を届けるだけでなく、教育機会の拡大やジェンダー平等の推進、地域経済の発展にもつながる取り組みです。当社は今後も、さまざまな立場の方の課題に向き合い、総合通販企業だからこそできる支援を継続していきます。

〈2025年度寄付先一覧〉

寄付先	寄付概要
認定NPO法人 国連WFP協会	子どもたちの学校給食支援に寄付。 ※『DAMA collection』のカタログ盛夏号と冬号において、売り上げの一部を寄付。
東モンゴルプロジェクト 「ECO FIELDS CO.,LTD.」	カシミアを生産する東モンゴル地区の遊牧民の労働環境改善、自然環境保護、産業の支援活動に寄付。 ※ファッションブランド『DAMA Premium』のカタログ秋冬号において、対象商品のご注文1点につき100円を寄付。
一般社団法人 more trees	植林や間伐・枝打ちなど森林保全活動に寄付。

「自然環境」を 持続可能にする

限りある資源を大切に活かし、
持続可能な社会の実現に
取り組んでいます。



オーガニックコットンの確かな
トレーサビリティを持つ生地
に、特殊加工でヴィンテージ
の風合いを醸やせたブルゾン

まるでリアルレザーのような
質感をかなえる、進化した
フェイクレザーのジャケット

ひんやりと心地よく軽やか
な再生繊維を使用した、柔
らかな生地がつくる美しい
ドレープのコート

取り組みテーマ より自然環境にやさしくらしへ／ 気候変動の緩和に向けて

捨てられるはずの杉皮を再利用した 「ARASサステナブルコレクション杉皮」の取り扱いを開始

1000回落としても割れない樹脂製の食器「ARAS（エイラス）」シリーズ。日本の職人の熟練した技術によって、革新的な樹脂素材「トライトン」とガラス素材を掛け合わせた新素材を用いてつくられており、高い耐久性とデザイン性を兼ね備えた食器ブランドとして注目を集めています。

当社では2025年7月より、社会問題の解決につながる素材の可能性を提案するコレクションとして開発された「ARASサステナブルコレクション杉皮」の取り扱いを始めました。本来捨てられるはずの自然由来の杉皮を再利用しており、杉皮原料を50%含んでいるため自然本来の香りや表情をお楽しみいただけます。

今後もサステナブルな商品の取り扱いを通して、自然環境とお客さまのくらしの両方を豊かにする取り組みを推進していきます。

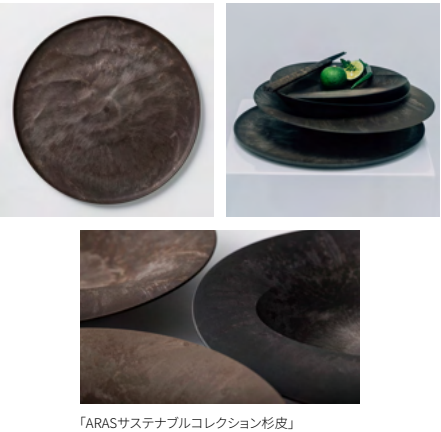
取り組みテーマ より自然環境にやさしくらしへ／ 気候変動の緩和に向けて

ファッションブランド「So Close,」で 初となる“サステナブル特集”を掲載

当社のファッション部門では、オーガニック認証素材や再生素材をはじめとするサステナブル素材を使用した商品の提案を積極的に進めています。dinosのファッションブランド『So Close,（ソークローズ）』2026夏号（2026年3月10日発行）において合計12ページにわたるサステナブル特集を企画。リサイクルやアップサイクル、オーガニック、アニマルフリーなど、さまざまなサステナブル素材を使った合計16種類のファッションアイテムをラインアップし紹介しました。

『So Close,』ではこれまでもサステナブルな商品を取り扱ってきましたが、多数のアイテムをそろえた特集企画としての掲載は初の試みとなりました。サステナブルファッションへの関心の高まりにより素材のバリエーションの幅が増えていることが、企画実施を後押しする要因となりました。

今後もお客さまの選んだ“好き”が環境負荷軽減につながるサステナブルファッションの価値の提案を続けていきます。



「ARASサステナブルコレクション杉皮」

取り組みテーマ より自然環境にやさしくらしへ

「ハンガリー産5つ星羽毛布団」の 本格的な下取り回収を開始 リサイクル羽毛掛け布団「reumo（リウモ）」として再生

当社では、使われなくなった羽毛布団をリサイクルして新たな羽毛布団へと生まれ変わらせるリサイクル羽毛掛け布団の独自ブランド「reumo（リウモ）」を展開しています。

2025年9月より、ハンガリー産の高品質ダウンを使用した「ハンガリー産5つ星羽毛布団」の下取り回収サービスを本格的にスタートしました。回収した羽毛布団を解体し、それらを一般的な新毛よりもさらに丁寧に洗浄して高品質な羽毛だけを使用し、新たに「reumo」として蘇らせます。品質・価格・サステナビリティの全てにおいて妥協せず、再びお客さまのもとにお届けします。

「recover（取り戻す）」「release（汚れを落とす）」「reborn（生まれ変わる）」という3つが「reumo」のキーワード。今後も「循環」という価値をお客さまと共有し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



未来を見据えたリサイクル羽毛布団
「reumo（リウモ）」

羽毛を無駄にしない、サステナブルで
環境にも優しい循環型の取り組み



徹底した洗浄で磨き上げた羽毛

取り組みテーマ より自然環境にやさしくらしへ／ 気候変動の緩和に向けて

自由に並べて使える、岡山県産ひのき間伐材を 使用したパレットベッドを発売

当社は2025年12月に、岡山県産の高品質なひのき間伐材を使用した国産のパレットベッドを発売しました。

美しい色艶と木目が特長の岡山県産ひのき「美作材」を100%使用し、国内家具メーカー製造による「国産品質」が特長の製品です。生産地の産業の活性化に貢献するだけでなく、間伐材の活用によって森林の健全な成長を促し、土砂崩れなどの災害リスクを低減します。また、お客さまに長く安心してお使いいただけるよう、国内家具メーカーで生産することで、品質にも徹底してこだわりました。約700kgの耐荷重試験をクリアし、きしみやたわみが出にくい高い強度を実現。角に丸みをつけた面取り加工を施しており、小さなお子さまがいるご家庭でも安心して設置いただけます。

安心してお使いいただける高品質な商品づくりはもちろん、森林環境と地域社会の未来を見据えた取り組みを今後も続けていきます。

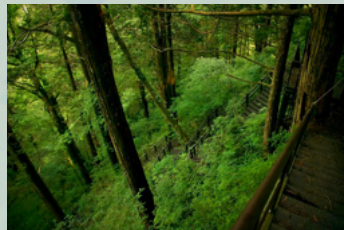
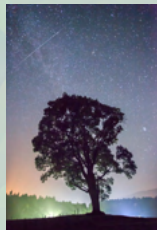
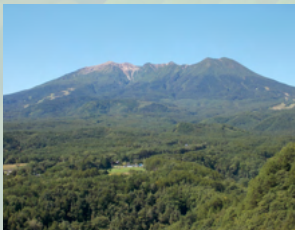


「自由に並べて使える国産ひの
きパレットベッド」



重点領域「『自然環境』を持続可能にする」の取り組みのひとつとして、2023年度より、長野県木曽町・開田高原で「ディノスの森」づくりに取り組んでいます。音楽家の坂本龍一さんが創立した、森林保全活動に取り組む「一般社団法人more trees」とともに、さまざまな広葉樹の苗木を植栽し、多様性のある森づくりを進めています。

長野県木曽町・開田高原



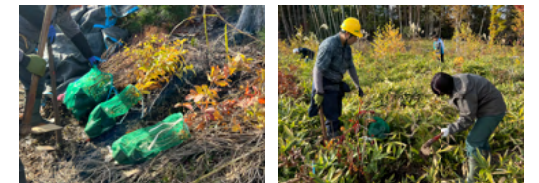
長野県南西部に位置し、総面積の90%が山林の木曽町・開田高原に「ディノスの森」があります。木曽町は古くから「木曽ヒノキ」に代表される銘木の産地として知られており、林業や木工製品の生産が盛んな場所です。そして標高1,000m以上に広がる開田高原は夏でも冷涼な気候で、山々や川に恵まれた美しい自然の広がるエリアです。

3年目のCO2吸収量と活動状況

木曽町では人工林の林齢が高齢化し、林相転換（森林の状態を人為的に変えること）が求められており、ディノスの森ではヒノキの単一林から「多様性のある森」への転換を目指しています。2025年3月末時点で、植林活動によるCO2吸収量[※]は8.9t-co2となっています。

3年目となる2025年度は、代表取締役社長 加藤浩輔と社員3名が現地視察を行いました。地元の木曽森林組合や一般社団法人more treesのみなさんとともに、枯れてしまった苗のかわりに新しい苗を植える「補植（ほしょく）」を実施。これまで植樹した苗木の多くが順調に育っている一方で、動物による食害で枝が折れたり、高温や降雨量などの環境条件により枯れているものもあり、生育が悪い苗木のかわりに新しい苗木40本（ミズメ30本、ミズナラ5本、クリ5本）を補植しました。

※林野庁が提供する「森林による二酸化炭素吸収量の算定方法」に基づき算定



当社スタッフによる現地視察の様子（2025年11月）

予定していたエリアの植林完了 今後は生育管理や調査を継続

2023～2025年度の活動で、計画していた「家の上（いえのうえ）町有林」の伐採跡地での植樹は完了しました。今後は下刈りや補植などの管理、樹高調査などの生育調査を続けていきます。また、開田高原の別エリアでの植樹や木曽ヒノキを活用した商品企画など、新たな取り組みを検討していきます。



植林を行った「家の上（いえのうえ）町有林」

お客さまのクチコミ数が、森づくりにつながっています

お客さまが投稿したご購入商品のクチコミ数を、「ディノスの森」づくりの応援数として換算。目標の年間3万件を達成すると、当社がお客さまに代わり植林を行います。2023年11月から開始した本取り組みは、第2期を2024年8月からスタートし、2025年9月に3万件を達成。2026年度の植林に向け、準備を進めています。

未来につながる、森づくり。「ディノスの森」 https://www.dinos.co.jp/forest_s/

一般社団法人more trees *moreTrees* <https://www.more-trees.org/>

株式会社 dinos

サステナビリティレポート 2025

株式会社dinos

<https://dinos-corp.co.jp/>

2026年8月発行

